

次回の人生の楽園 テレビ朝日

2018年4月14日卯月の式 18:00～

高知・黒潮町

～ 優しさ伝える母の米飴 ～



今回は、4キロにも及ぶ海岸を美術館とし、「Tシャツアート展」などのイベントを開催している高知県黒潮町が舞台。

子どもの頃から食べ親しんだ米飴を残そうと、米飴を生産する「ともこ工房」を営む堀由紀さん(56歳)と母の委子(ともこ)さん(79歳)が主人公です。

黒潮町の山間部で、三姉妹の長女として生まれ育った由紀さん。子どもの頃から母・委子さんがおやつに作る米飴が大好きでした。由紀さんが40代を迎え、委子さんが高齢になったことで「このままだと母の作る米飴がなくなってしまう」と感じた由紀さんは、委子さんから米飴作りを学び始めました。そして2015年、委子さんが細々と作り続けていた「ともこ工房」を新築、薪釜も二つ設置して、由紀さんは本格的な米飴の生産とお茶作りをスタートしました。

お米と麦芽と水だけで作る米飴は、仕上がりの見極めが難しく、母の委子さんに手伝って貰いながら米飴作りを続けています。「ともこ工房」で作る米飴は、優しい甘味が懐かしいと黒潮町で人気になっています。さらに由紀さんは、地域を元気にしたいと「農家民宿ななさと」をオープンし、土曜日限定のモーニングサービスも始めるなど、精力的に活動しています。

母の味を残したいと工房を営みながら、地域を元気にしたいと頑張る由紀さん。そんな由紀さんを応援してくれる家族やご近所さんとの日常を紹介します。